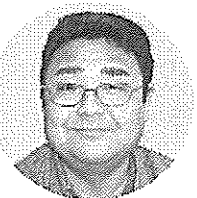


おふろプラットフォーム開催

リハビリデザイン研究所(東京都武蔵野市)は10月25日、都内で「おふろプラットフォーム2013」個浴の可能性を考える」を開催する。「個別入浴」による実践事例を紹介する。同社代表の山田稔氏、NPO法人メイアイヘルプユ―理事の島海房枝氏(保健師)らが講演する。後援はとうきょう地域ケア研究会。



山田稔代表

鳥海氏は「入浴から排泄・食事まで」、山田氏は「個別入浴の意味と生活リ」介護現場では「個浴」例によって紹介。当日は

リハビリデザイン研究所

という言葉を「個人浴槽」1人浴槽」の意味として使うことが多い。「本来私たちが個浴というのは『個別入浴』のこと、つまり個人対応の入浴。一人ひとりの気持ちに沿った入浴を意味している。」(山田稔代表)。

浴槽も展示し、入り方も実演する。会場は武蔵野スイングホール(東京都武蔵野市)。時間は10時〜16時半。参加費は一人3000円。

(社)日本認知症コミュニケーションセッション協議会(東京都渋谷区)は9月20日、都内で創立5周年記念シンポジウム「認知症予防と進行を抑える」を開催する。基調講演では同協会の渡辺光子理事が「認知症ケアに携わる専門職の養成」をテーマに話す。また

「アクティビティ・ケア」テーマの事例発表が予定されているほか、有識者を招いた講演も行う。

認知症ケアシンポジウム

会場はすまい・ホールで、時間は13時から17時。参加費は会員が1200円、一般が1500円。定員は300名。

第25回 近づく西国のシニア事業

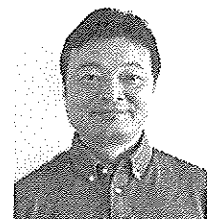
7月25日から30日まで、計といったテーマを扱いた上海の方々に招いてシニアしたが、上海の皆さんは食事業日本視察ツアーを行い、欲に学び取り、自国に持ち帰りました。参加者は政府系老人ホーム院長や政府関係者が中心でした。

最初の3日間は当社施設(神戸)での介護に関する実技指導や講習会など日程をフルに使った研修を行いました。高齢者のヘルスケアと製造業に比べて立ち遅れている、サービス業としてのシニア事業を多様化することにより、多くの雇用創出リハビリ、介護技術、バリアフリーや高齢者に優しい設

外資系参入、認める方向に

中国では高齢者のケアは在宅ケア90%、地域ケア7%、施設ケア3%の「9073」の基本政策があり、2020年をめどに、在宅ケアを中心とするサービス体系を構築しようとしています。日

中国の高齢者マーケット



ゲストハウス社長 松山英樹

～介護・不動産事業の行方～

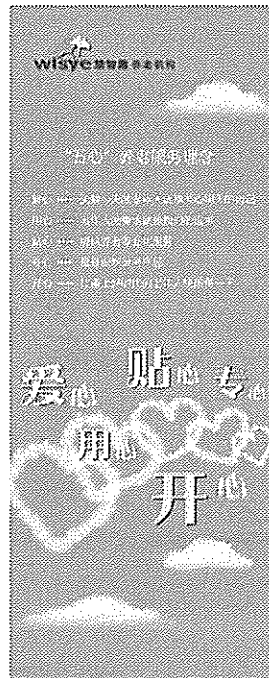
著者プロフィール
ゲストハウス社長。2007年から高齢者住宅リノベーションシリーズを関西圏で展開。中国市場開拓を目指し、上海に中国シニア事業会社設立。

- 1、愛する心ー今日のご老人を愛することは、明日の自分を愛すること
- 2、心をこめるーご老人の要望は我々の追求
- 3、親密な心ー心のこもった親密なサービスを我々は提供します
- 4、親身な心ー人それぞれに合わせた満足あるサービスの追及
- 5、心を開くーこの時代に暮らすご老人が毎日楽しく暮らせるように

▲当社の上海の老人ホームの理念

「5心」を核とした「心を開く」を理念とし、高齢者に寄り添ったサービスを提供することを目指しています。上海での老人ホーム運営の基本精神を経営陣全員で確認し、5つの心を作り出した

介護・福祉



▲当社の上海の老人ホームの理念